

第4回

嘉麻市学校施設整備審議会

資料

平成30年3月14日（水）

審議経過について（第3回審議会）

《施設整備の方法について》

学校施設の整備を行うにあたっては、多額の財政負担を要することとなるため、有利な財源を最大限活用し計画的・効率的な施設整備が必要です。

- ①平成21年度に作成した基本計画に則り、**大規模改修を中心に施設整備を実施し、耐用年数経過時点で改築方法を再検討する。**
- ②基本計画の見直しを行い、**大規模改修から改築による施設整備へ変更する。ただし、学校数は既存学校数を維持する。**
- ③基本計画の見直しを行い、**大規模改修から改築による施設整備へ変更する。ただし、小学校と中学校を一体型校舎とする。**

《第3回 審議会の審議内容》

【施設整備の方法について】

⇒財源の説明と安心安全の観点から③が良いと考える。

⇒②の既存学校数の維持については、熊ヶ畑小学校については小規模特認校に認定されているので残すような形をとりたいが、基本は③である。

⇒①②については特に意見なし。

⇒審議会の意見としては、③「大規模改修から改築による施設整備へ変更する。ただし、小学校と中学校を一体型の校舎とする。」にまとめる。

⇒個別の学校についてどのように考えていくか。

⇒熊ヶ畑の環境だからできている取組みも多々あると感じている。今後はそういった教育に賛同する保護者も増えていくのではと思う。

⇒熊ヶ畑小は小規模特認校に認定後、児童数が増加してきた。地域や保護者の頑張りがあったと思うが、熊ヶ畑地区の特性を生かして市内唯一の特認校として存続させてほしい。

【施設整備の優先度について】

⇒碓井中は裏山の土砂災害の問題があるので、優先的に取り組んでもらいたい。

⇒稲築西と稲築東の順位付けが難しい。

⇒稲築西は学校敷地が併設しているため、一体型をイメージしやすい。建設年度で見ると、稲築西の方が2年古い。児童生徒数も多い。

⇒山田校区は、山田中は大規模改修が終了している。上山田小・下山田小は平成2年・平成11年開校でそんなに古い校舎ではない。統合などを検討するには時間がかかるので緩やかにやっていってもよい。

⇒嘉穂校区は、嘉穂中は平成17年度、嘉穂小は平成25年度開校と新しく、また、牛隈小学校も大規模改修が終了しているため、財政状況や学校の状況を見ながら緩やかにやっていってもよい。

⇒審議会の意見としては、「優先度第1位：碓井中学校区、第2位：稲築中学校区、第3位：稲築東中学校区、第4位：山田中学校区、第5位：嘉穂中学校区」の順で議論した。

【その他の意見等】

⇒施設整備には防災面も考慮して、グラウンドの照明設備、自家発電や学校の進入口の拡張なども検討してほしい。

⇒他市の一貫校などの話を聞いていると、運動場の広さが問題になっているようである。出来るだけ広い運動場が必要である。

⇒稲築東小も高台にあり進入路も狭小であるため、施設整備を行う際には、設置場所として安全面などから地域住民の目が届くところが良い。稲築東中学校敷地に移転など。

⇒稲築東小の運動場では、約30年前に炭鉱時代の影響による陥没事故が発生している。（ホッパー埋設部の陥没）